

令和 7 年度(2025 年度)小中高生の外務省訪問  
(7 月分)

令和 7 年 8 月 8 日

●愛知県 名古屋市立丸の内中学校(令和 7 年 7 月 8 日)

講 師: 大澤暁 国内広報室 首席事務官

開 催 形 式: 対面



●岡山県 岡山県立岡山朝日高等学校(令和 7 年 7 月 10 日)

講 師: 小林龍一郎 在外公館課 現地職員管理官

開 催 形 式: 対面



●東京都 東久留米市立久留米中学校(令和 7 年 7 月 11 日)

講 師: 村田篤史 IT 広報室 課長補佐

開 催 形 式: 対面



●東京都 自由ヶ丘学園高等学校(令和7年7月16日)

講師:山崎太 在外勤務支援室 課長補佐

開催形式: 対面



●東京都 東京都立武蔵野北高等学校(令和7年7月17日)

講師:西村祐輝 国際報道官室 事務官

開催形式: 対面



参加生徒からの感想(抜粋)

- 外務省は国益のために、平和的な手段で外交を行っているということで理解できた。
- 具体的にどのような外交活動が行われているのかよく知らなかったが、平和のためにさまざまな策を講じていることが理解できた。また、広い視野をもつことがいかに大切かもわかった。
- 外務省の仕事内容だけではなく、国際関係を円滑に調整する外交官の信念や姿勢について話を聞くことができた。
- 在外公館では、海外で暮らす日本人の保護にも取り組んでいることを初めて知った。
- 外務省の仕事や仕組みについて幅広く知ることができた。世界には自分の知らないことがたくさんあるので、それらについてもっと知り、自分が将来どのように関わっていけるか考えるきっかけになった。

先生からの感想(抜粋)

- 生徒の興味関心を大いに刺激する内容だった。
- 普段、なかなか訪れることのできない場所で、貴重な体験となった。